今後の保育政策を考える会	資料２
令和８年７月14日（火）	

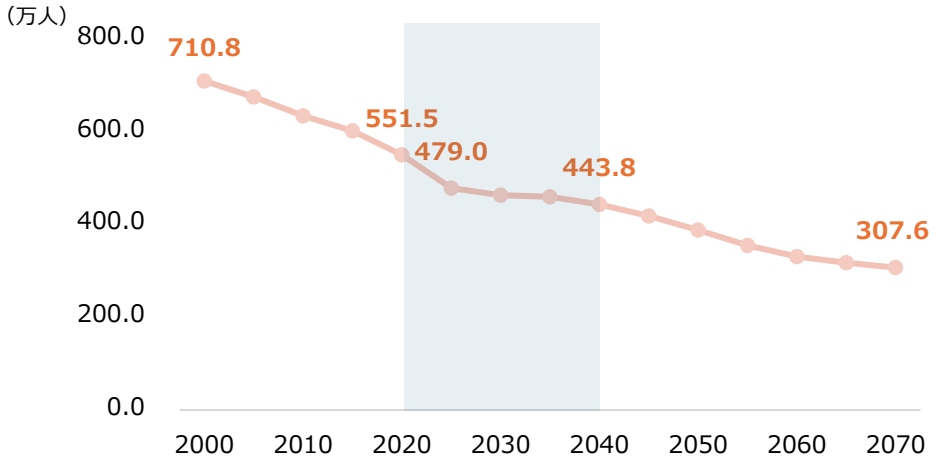
こどもまんなか
こども家庭庁

保育政策の現状と課題について

保育政策を取り巻く現状

★こどもの数は減少

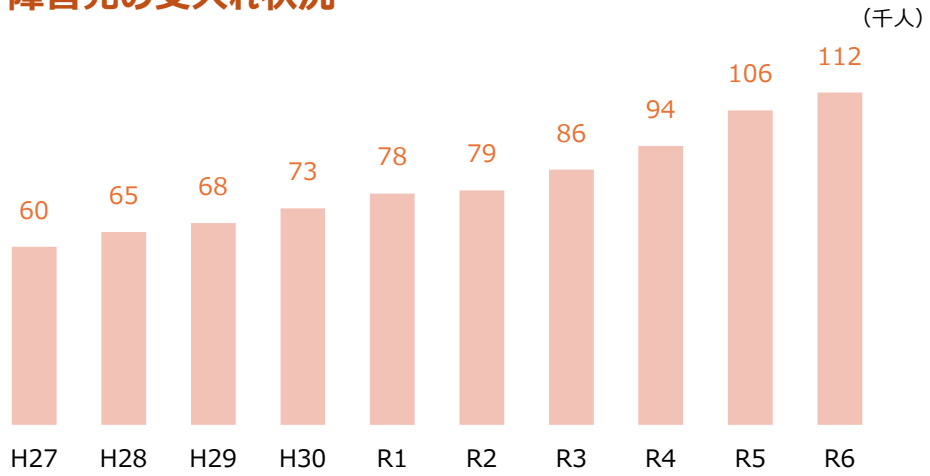
０～５歳人口の推移（将来推計）



（出典）「国勢調査」（総務省）（2024年以前）
「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）（2025年以降）

★こども･子育て家庭は多様化①

障害児の受入れ状況



（出典）こども家庭庁成育局保育政策課調べ
（注）障害児数には、軽度障害児を含む

★こども･子育て家庭は多様化②

外国人児童（０～５歳）

約13万人

※令和７年６月
（平成27年６月：約９万人）

共働き世帯の割合

77.3%

※令和６年
（平成27年：63.5%）

児童虐待相談対応件数

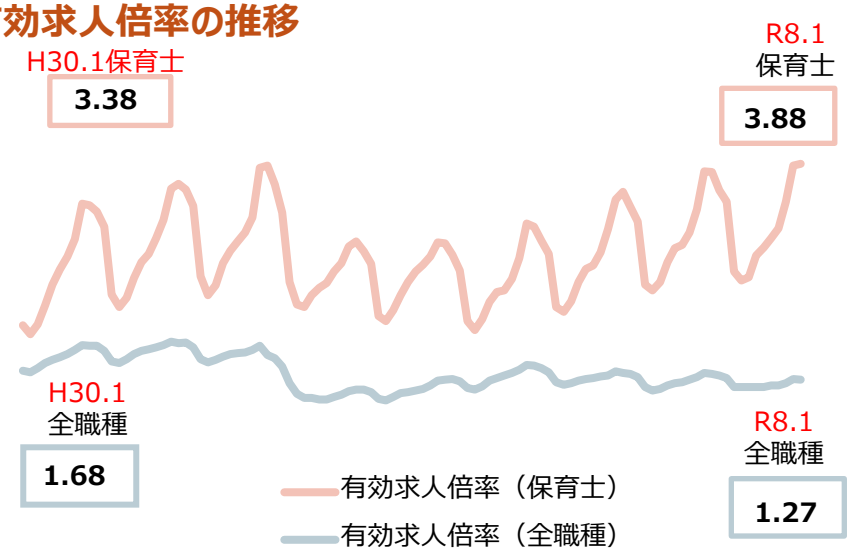
約22万件

※令和６年度
（平成27年度：約10万件）

（出典）
外国人児童（０～５歳）：「在留外国人統計」（出入国在留管理庁）
共働き世帯の割合：「労働力調査」（総務省）等を基にこども家庭庁において作成
児童虐待相談対応件数：「福祉行政報告例」（厚生労働省）を基にこども家庭庁において作成

★担い手不足は深刻

有効求人倍率の推移



（出典）「一般職業紹介状況」（職業安定業務統計）（厚生労働省）

課題と論点

- **こどもの数が減少**する中で、地域における保育機能の維持・確保が重要。市町村による**計画的な提供体制整備を強化**するとともに、**提供体制を維持・確保するための対応**を進める必要があるのではないか。また、保育の質を向上させるため、幅広い人材やテクノロジーの活用を含めた**保育所等の在るべき体制**や**地域で保育の質を向上させる体制**について検討する必要があるのではないか。保育所等における**安全性確保の取組**についても、引き続き、強化していく必要があるのではないか。

（計画的な提供体制整備）	中長期推計／地域分析／子ども・子育て支援事業（支援）計画／法人間連携／統廃合
（提供体制を維持・確保するための対応）	多機能化の推進／配置・設備運営の弾力化／へき地保育所
（保育所等の体制）	配置改善／チーム保育／専門職／保育補助者／テクノロジー
（地域の質向上の体制）	幼児教育センター／幼児教育アドバイザー
（安全性確保の取組）	保育所等における虐待防止／性暴力防止／事故防止／災害対応

- **こども・子育て家庭は多様化**しており、それぞれのニーズに対応しつつ、**「こどもまんなか社会」の実現**に向けて、**全てのこどもの育ちと子育て家庭を支援**していくことが重要。**こども誰でも通園制度を推進**するとともに、障害児・医療的ケア児・外国人児童等の受入れ体制を整備し、**インクルージョンを推進**していくことが必要ではないか。また、働き方やライフスタイルが多様化する中で、病児保育や延長保育、夜間保育などの確保・充実に取り組み、**多様な保育ニーズへの対応**を図る必要があるのではないか。加えて、核家族化が進み、地域のつながりが希薄となる中で、保育所等においても**家族支援や地域の子育て支援**により一層取り組んでいく必要があるのではないか。
- その上で、**家庭環境**や**施設類型などの違い**によらず、こどもの育ちを等しく保障するための取組を進めていく必要があるのではないか。

（こども誰でも通園制度の推進）	質の向上／利用の在り方／対象者の在り方
（インクルージョンの推進）	障害児／医療的ケア児／外国人児童
（多様な保育ニーズへの対応）	病児保育／延長保育／夜間保育
（家族支援・地域の子育て支援）	家族支援／要支援家庭／地域の子育て支援

- **担い手不足が深刻**である中、保育士等の処遇改善に取り組み、**職務や経験に応じた処遇を確保**するとともに、**地域における必要な人材確保の取組を強化**する必要があるのではないか。また、**保育士以外の幅広い人材や、テクノロジーの活用**についても進めていく必要があるのではないか。

（職務や経験に応じた処遇の確保）	処遇改善／経営情報の見える化／研修体系／キャリアラダーの構築
（地域における人材確保の取組強化）	保育士・保育所支援センター／潜在保育士／地域における関係者の連携・協働
（幅広い人材・テクノロジー活用）	省力化／「タスクシフト/シェア」／短時間勤務／保育補助者／ICT導入／保育DX／データ利活用

- その他、社会情勢の変化等を踏まえ、中長期的な課題も含め、議論すべき事項はないか。